

観 点	発 行 者 2・東書	4・大日本	11・学図	17・教出	61・啓林館	116・日文
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○小数や分数の意味を理解し、計算のしかたを考察する力を育む活動（第4学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポットややかんに入った水の量の合計を求める ・2本のテープを合わせた長さを求める 	<p>○2つのバケツに入った水の量の合計を求める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルの水の量を求める 	<p>○やかんに入れた水の量の表し方を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュースの量を求める 	<p>○ペットボトルに入った水の量の表し方を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紅茶と牛乳を合わせた量を求める 	<p>○サイクリングの道のりを求める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テープの長さを求める 	<p>○ジュースのかぎの表し方を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リボンの長さを求める
	<p>○平面図形を理解するとともに、図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、考察する力を育む活動（第4学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四角形を仲間分けする ・平行四辺形をかく 	<p>○四角形を仲間分けする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平行四辺形のかき方を説明する 	<p>○地図記号から平行な直線を見つける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りから台形や平行四辺形を探す 	<p>○平行四辺形のかき方を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパスを使ってひし形をかく 	<p>○点をつないで四角形を作る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパスを使って平行四辺形をかく 	<p>○いろいろな形の四角形を作る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある四角形を探す
	<p>○量の概念を理解し、量の単位を用いて的確に表現する力を育む活動（第2学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆の長さを測る ・はがきの縦と横の長さを測る 	<p>○しおりの長さの測り方を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はがきの縦と横の長さを測る 	<p>○長さを測る道具を作る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消しゴムの長さを測る 	<p>○しおりの長さを比べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はがきの横と縦の長さを測る 	<p>○こぶしを使って物の長さを比べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はがきの横の長さを測る 	<p>○はがきの横と縦の長さを測る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものさしを使って直線をひく
	<p>○表やグラフに表す技能を身に付け、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力を育む活動（第5学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うさぎ小屋の混み具合を比べる ・米の取れ具合を考える 	<p>○ドッジボールの成績を比べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電車の乗車率の変化を考える 	<p>○市と町の混み具合を比べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素の排出量をグラフに表す 	<p>○プールの混み具合を調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口密度を求める 	<p>○4つの部屋の混み具合を比べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県の面積と人口について考える 	<p>○シートに座っている人の混み具合を調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口密度を求める
	<p>○数量を表やグラフに表す技能を身に付け、データの特徴や傾向に着目し批判的に考察する力を育む活動（第6学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縄跳びの回数からデータを整理する ・データから分かることを考える 	<p>○本の貸し出し冊数のデータを整理する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの特徴を表す代表値を考える 	<p>○反復横跳びの結果のデータから代表値を求める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データから分かることを考える 	<p>○読んだ本の冊数と人数の関係を調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフに表す 	<p>○ソフトボール投げの記録を比べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフに表す 	<p>○ソフトボール投げの記録を比べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフに表す
	<p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応（第6学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を設定し、見通しをもたせる ・円の一部分の面積の求め方について考える ・考えの共通点などについて話し合う（円の面積） 	<p>○学習課題を設定し、見通しをもたせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算の仕方について考える ・考えの相違点などについて話し合う（分数の乗法、除法） 	<p>○学習課題を設定し、見通しをもたせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1000人分のカレーを作る時の材料の量を考える ・解決方法などについて話し合う（比） 	<p>○学習課題を設定し、見通しをもたせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10のまとまりを基に解決方法を考える ・倍数を基にした考え方などについて話し合う（比例） 	<p>○学習課題を設定し、見通しをもたせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録の比べ方を考える ・資料の整理の仕方、比べ方などについて話し合う（データの考察） 	<p>○学習課題を設定し、見通しをもたせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算の仕方について考える ・いつでも使える計算の仕方になっているか話し合う（分数の乗法、除法）
内容の構成・排列、分量等	<p>○系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個数や順番を数える学習後に1位数の加法や減法の学習（第1学年） 	<p>○個数や順番を数える学習後に1位数の加法や減法の学習（第1学年）</p>	<p>○個数を比べる学習後に数の合成や分解の学習（第1学年）</p>	<p>○数の合成や分解の学習後に2位数の表し方の学習（第1学年）</p>	<p>○個数や順番を数える学習後に1位数の加法や減法の学習（第1学年）</p>	<p>○数の合成や分解の学習後に1位数の加法や減法の学習（第1学年）</p>
	<p>○内容の分量（前回の教科書からの増量）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年 173ページ(6%増) ・第2学年 258ページ(10%増) 	<p>○第1学年 177ページ(17%増)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2学年 243ページ(10%増) 	<p>○第1学年 196ページ(29%増)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2学年 287ページ(21%増) 	<p>○第1学年 180ページ(7%増)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2学年 279ページ(16%増) 	<p>○第1学年 176ページ(2%増)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2学年 291ページ(5%増) 	<p>○第1学年 190ページ(15%増)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2学年 281ページ(1%増)

	<ul style="list-style-type: none"> 第3学年 298ページ(10%増) 第4学年 322ページ(11%増) 第5学年 310ページ(8%増) 第6学年 281ページ(8%増) 	<ul style="list-style-type: none"> 第3学年 263ページ(15%増) 第4学年 287ページ(13%増) 第5学年 289ページ(17%増) 第6学年 269ページ(13%増) 	<ul style="list-style-type: none"> 第3学年 299ページ(12%増) 第4学年 323ページ(18%増) 第5学年 331ページ(14%増) 第6学年 293ページ(12%増) 	<ul style="list-style-type: none"> 第3学年 298ページ(16%増) 第4学年 346ページ(21%増) 第5学年 308ページ(12%増) 第6学年 274ページ(15%増) 	<ul style="list-style-type: none"> 第3学年 296ページ(3%増) 第4学年 313ページ(9%増) 第5学年 301ページ(9%増) 第6学年 297ページ(3%増) 	<ul style="list-style-type: none"> 第3学年 294ページ(3%減) 第4学年 323ページ(4%増) 第5学年 314ページ(3%増) 第6学年 281ページ(6%増)
使用上の配慮等	<p>○学習意欲を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 「単元プロローグ」で課題を見いだす様子を例示(全学年) 「いかしてみよう」で学習したことを日常生活に活用する活動(全学年) 「ふくろう先生のなるほど算数教室」で教材の工夫(第3～6学年) 「算数たまたまばこ」で生活と結びつける活動(全学年) 日本の自然や伝統文化等を学習の素材(全学年) ページ左側に「～したいな」などの児童の視点に立った言葉(全学年) 授業開きの特設教材で問題解決の楽しさ(第2～6学年) 「広がる算数」で児童の興味・関心を高める探究的な教材(第4～6学年) 「わくわく算数ひろば」で主体的な探究活動(第3,5,6学年) 「学びのサポート」で自主的に取り組むことのできる内容(第2～6学年) 「単元アプローチ」で遊びの要素がある内容(全学年) 「算数アドベンチャー」で数学的な面白さを実感できる内容(第2～6学年) 					
	<p>○主体的に学習に取り組む工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学びのとびら」で問題解決の過程を可視化(第2～6学年) 「算数でよみところう」で主体的に関わることができる教材を設定(第4～6学年) 「算数まなびナビ」で学習の進め方の例示(全学年) 単元の導入で児童自身が問題や疑問を見いだす様子を例示(全学年) ページ右側に問題解決に必要な数学的な見方・考え方を記載(全学年) 学習のめあてが疑問や話し合いの中から出るよう工夫(全学年) モデルページで学習の進め方を例示(全学年) 「算数のミカタ」で数学的な見方を促す(全学年) 児童自らが課題意識や見通しをもって学習に取り組める場面を設定(第2～6学年) 各時間の学習に「めあて」や「まとめ」を設定(第2～6学年) 「自分でみんなで」で学習の進め方を例示(全学年) 「さあ、算数の学習を始めよう！」で問題解決的な学習の展開例を掲載(第2～6学年) 					
	<p>○使用上の便宜</p> <ul style="list-style-type: none"> 第一分冊としてノート機能を備えたA4版(第1学年) ユニバーサルデザイン教科書体(全学年) 他教科の学習と関連した題材にリンクマーク(全学年) ユニバーサルデザイン教科書体(全学年) 学年末の「今の自分を知らう」でパフォーマンス評価による自己評価(全学年) ユニバーサルデザイン教科書体(全学年) 典型的な誤答の見られる問題に「考えのヒント」や解決の着眼点を掲載(第2～6学年) ユニバーサルデザイン教科書体(全学年) 巻末に考えを伝えるときに分かりやすい説明の仕方を掲載(第2～6学年) ユニバーサルデザイン教科書体(全学年) 「算数ノートをつくらう」で児童が考えた過程を適切に示したノートの見本を掲載(全学年) ユニバーサルデザイン教科書体(全学年) 					
指導上の配慮等	<p>○地域素材</p> <ul style="list-style-type: none"> 札幌から旭川までの距離を概数で表した問題 旭山動物園の写真 北海道に関わる文字や数値, 写真 北海道の面積 北海道に関わる文字や数値, 写真 北海道の面積や札幌時計台の写真 北海道に関わる文字や数値, 写真 旭川駅周辺の写真と地図を比べる内容 ツインハーブ橋の写真 北海道に関わる文字や数値, 写真 北海道の面積や札幌時計台の写真 北海道に関わる文字や数値, 写真 北海道の面積 北海道に関わる文字や数値, 写真 					
	<p>○ICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> スクラッチをベースに、プログラミング的思考を育む教材(第5～6学年) デジタルコンテンツの工夫(加減乗除の熟達, 図形の描き方, グラフなど全学年) 発達段階に応じてプログラミング的思考を育む「プログラミングに挑戦」(全学年) デジタルコンテンツの工夫(加減乗除の熟達, 図形の描き方, グラフなど全学年) 発達段階に応じて、ロボットを動かす独自のプログラミング教材(全学年) デジタルコンテンツの工夫(復習や算数用具の使い方など全学年) プログラミング的思考を育む独自開発のプログラミングツール(第5学年) デジタルコンテンツの工夫(加減乗除の熟達, 図形の作図など全学年) 発達段階に応じてプログラミング的思考を育む「算数ラボ」(全学年) デジタルコンテンツの工夫(全学年, 全単元) スクラッチを用いたプログラミング教材(第5学年) デジタルコンテンツの工夫(加減乗除の熟達, 円の面積の求め方など全学年) 					

	<p>○小・中連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発展的な学習内容「おもしろ問題にチャレンジ」の一部(第4～6学年巻末)「卒業旅行中学校体験入学コース」(第6学年巻末) 	<ul style="list-style-type: none"> ・発展的な学習内容「中学校の数学ではこんなことを学ぼう」(第5～6学年巻末)「数学の世界へ」(第6学年巻末) ・目次に中学校とのつながりを明示 	<ul style="list-style-type: none"> ・発展的な学習内容「なるほど算数」の一部(第4～6学年)「中学校へのかけ橋」(別冊) 	<ul style="list-style-type: none"> ・発展的な学習内容コラムの一部(第5～6学年)「数学へのとびら」(第6学年巻末) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の紹介コラムの一部(第5～6学年)「中学校で学ぶ『数学』の簡単なしよukai」(第6学年巻末) 	<ul style="list-style-type: none"> ・発展的な学習内容「なるほど算数」の一部(第4～6学年)「もうすぐ中学生」(第6学年巻末)
本市児童の学習の状況等	<p>○既習の学習内容を手掛かりに、進んで問題を解決しようとする態度の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「ふりかえりコーナー」で既習の学習内容明示(第2～6学年) ・巻頭の「学びのとびら」で問題解決的な学習展開紹介(全学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「ひと目でわかる！前学年までのまとめ」で既習の学習内容明示(第2～6学年) ・巻頭の「算数まなびナビ」で問題解決的な学習展開紹介(全学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・吹き出しで既習とのつながりを明示(全学年) ・ページ左側に学び方を表記し問題解決的な学習展開ができるよう工夫(全学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「学びのマップ」で既習の学習内容明示(第2～6学年) ・問題発見・解決の過程を吹き出しで示し、問題解決的な学習展開ができるよう工夫(全学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「前学年までのまとめ」で既習の学習内容明示(第2～6学年) ・巻頭の「学習の進め方」で問題解決的な学習展開紹介(全学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「前学年までに学習したこと」で既習の学習内容明示(全学年) ・巻末シート「学び方ガイド」で問題解決的な学習展開ができるよう工夫(第2～6学年)
	<p>○根拠を明確にして説明する力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吹き出しで数学的な見方・考え方を明示し、見方・考え方を育む練習問題を適宜設定(全学年) ・「今日のふかい学び」で数学的活動を明示(全学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひらめきアイテム」として数学的に大切な見方・考え方を示し、巻末に「ひらめきアイテム集」としてまとめる(第2～6学年) ・「じっくりふかく学び合おう」で数学的活動を明示(全学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「算数で見つけたいい考え方モンスター」で数学的な見方・考え方を明示(全学年) ・「アクティブ(活動)!!」のページで、個人、グループ、全体で考える等の話し合いの段階を明示(全学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・吹き出しで数学的な見方・考え方を明示(全学年) ・巻末「算数を使って考えよう」で他者の説明を发展させて説明しなおしたり、不十分な説明を修正・改善したりする活動を設定(第2～6学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・吹き出しで数学的な見方・考え方を明示(全学年) ・課題に対して自分の考えを説明したり、複数の考え方を数学的に表現し伝え合う活動を設定(全学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「算数で使いたい言葉・考え方」で数学的な見方・考え方を明示(第2～6学年) ・「カギマーク」で数学的な見方・考え方の着眼点を明示(全学年)
	<p>○基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を踏まえた練習問題 ・単元末「たしかめよう」で身に付けた知識・技能を明確化(全学年) ・適宜設定された「おぼえているかな」や巻末「学年のまとめ」で補充問題(全学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を踏まえた練習問題 ・単元末「たしかめ問題」で身に付けた知識・技能を明確化(全学年) ・巻末「プラス・ワン」で補充問題(全学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を踏まえた練習問題 ・単元末「できるようになったこと」で身に付けた知識・技能を明確化(全学年) ・巻末「ほじゅう問題」で補充問題(全学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を踏まえたたしかめ問題や練習問題 ・単元末「ふり返ろう」や「たしかめよう」で身に付けた知識・技能を明確化(全学年) ・巻末「学年のまとめ」で補充問題(全学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を踏まえた練習問題 ・単元末「学びのまとめ」や「ふくしゅう」や「たしかめよう」で身に付けた知識・技能を明確化(全学年) ・適宜設定された「れんしゅう」や巻末の「もっと練習」で補充問題(第2～6学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を踏まえた練習問題 ・単元末「たしかめポイント」で身に付けた知識・技能を明確化(全学年) ・巻末「算数マイトライ」で補充問題(全学年)
その他	・第1～5学年分冊, 第6学年1冊	・全学年1冊	・第1～5学年分冊, 第6学年1冊	・第2～4学年分冊 ・第1, 5, 6学年1冊	・第2～4学年分冊 ・第1, 5, 6学年1冊	・第1～5学年分冊, 第6学年1冊

